

CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	ドラッグコスモス大矢野店	階数	地上1F		
建設地	熊本県上天草市大矢野町上字松崎	構造	S造		
用途地域	指定なし	平均居住人員	0人		
気候区分	7地域	年間使用時間	4,015時間/年		
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2015年8月 0.0	評価の実施日	2015年4月17日		
敷地面積	6,514㎡	作成者			
建築面積	2,111㎡	確認日			
延床面積	2,085㎡	確認者			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

環境品質 Q

環境負荷 L

BEE=1.0

BEE = 1.0

■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

排出率

83%

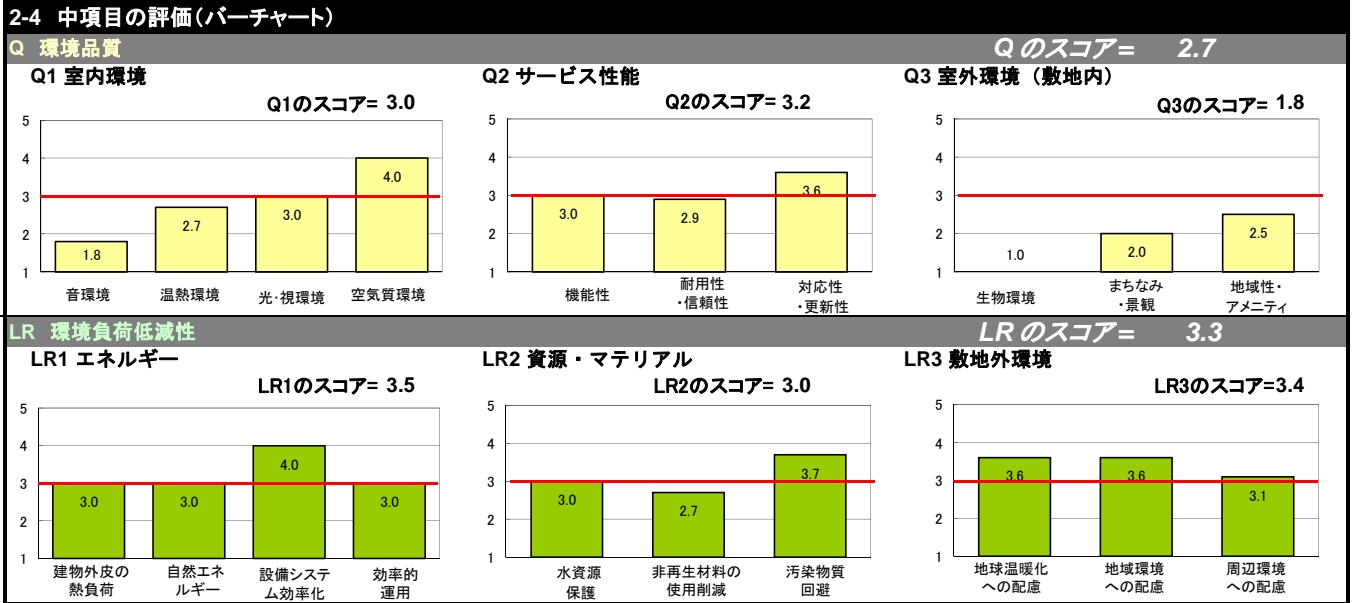
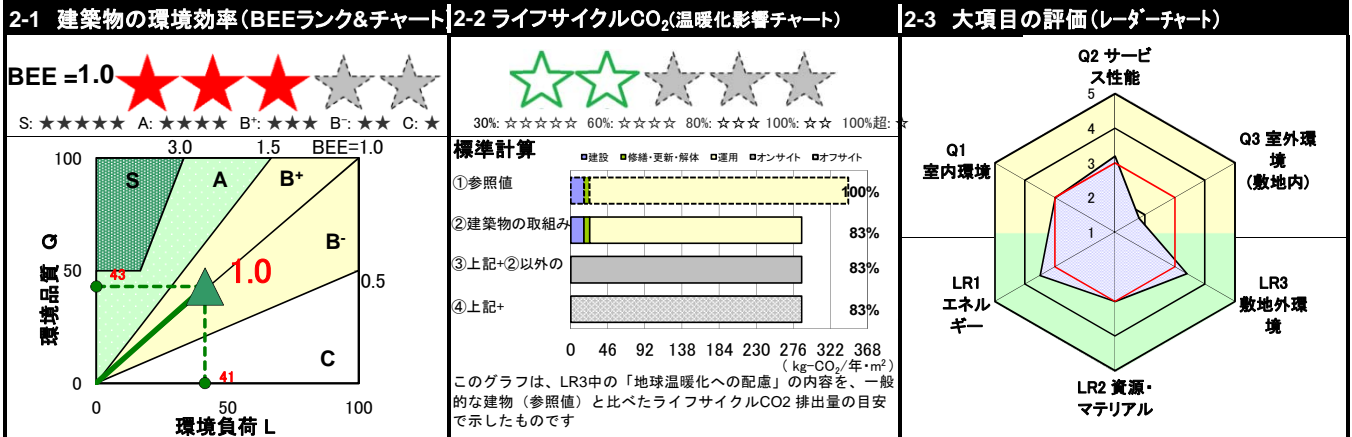
2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価		評価点												
		76												
<p>【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進</p> <p>【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現</p> <p>【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全</p> <p>【重点事項4】 循環型社会の実現</p>	<p>評価点</p> <p>87.5</p> <p>65.0</p> <p>67.8</p> <p>72.0</p>	<p>■ 熊本県重点評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価点は、100点以上が推奨です。</p>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														

CASBEE®熊本《新築》 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	ドラッグコスモス大矢野店		階数	地上1F
建設地	熊本県上天草市大矢野町上字松崎		構造	S造
用途地域	指定なし		平均居住人員	0人
気候区分	7地域		年間使用時間	4,015時間/年
建物用途	物販店		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月	0.0	評価の実施日	2015年4月17日
敷地面積	6,514㎡		作成者	
建築面積	2,111㎡		確認日	
延床面積	2,085㎡		確認者	



■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

建物外皮の断熱性能向上、LED照明の全面的な採用などで環境負荷削減に留意した。

Q1 室内環境

内装には、F☆☆☆☆建材を使用し、空気質環境に配慮した。

Q2 サービス性能

天井高・階高を十分にとり、耐力壁の無い自由度の高い空間とすることで、建物の更新性を高めた。

Q3 室外環境（敷地内）

周辺のまちなみ・景観を悪化させないような外観デザインとした。

LR1 エネルギー

外皮の断熱性能向上、LED照明の全面的な採用などによりエネルギー消費量の削減を図った。

LR2 資源・マテリアル

躯体と仕上材を容易に分別可能な設計とし、リサイクルの促進を図った。
また、発泡系断熱材を使用しないことで、オゾン層の保護にも配慮した。

LR3 敷地外環境

空調はEHPとし、大気汚染防止に配慮した。

その他

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境					0.40	-	-	3.0
1 音環境				1.8	0.15	-	-	1.8
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音				1.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境				2.7	0.35	-	-	2.7
2.1 室温制御				3.3	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.50	3.0	-	
2 外皮性能				3.0	0.17	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		系統別に冷暖房の選択可能		4.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.50	-	-	
1 昼光率				3.0	-	3.0	-	
2 方位別開口				3.0	-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策				-	-	-	-	
1 昼光制御				3.0	-	3.0	-	
3.3 照度				3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御				3.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境				4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		内装建材にはF☆☆☆☆建材を採用。		4.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気				3.5	0.30	-	-	
1 換気量		建築基準法の基準換気量の1.2倍以上を確保		4.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	-	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		施設内禁煙		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.2
1 機能性				3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		売場の天井高 4.4m		5.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33	-	-	
3 内装計画				1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		仕上げ材を痛めないで維持管理が可能		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.25	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.13	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.13	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.25	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.25	-	-	
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		余裕のある階高		5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		耐力壁の無い自由度の高い空間		4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性				3.4	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		天井懐が高く、スペースが確保されている		4.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		構造部材を痛めないで更新が可能		4.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	

	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)			-	0.30		-	1.8
	1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
	2	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40		-	2.0
	3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.3
LR1	エネルギー			-	0.40		-	3.5
	1	建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20		-	3.0
	2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
	3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 0.82 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50		-	4.0
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	高効率設備機器の採用	4.0	1.00		-	
		集合住宅の評価(3c)			-		-	
	4	効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
		集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
		集合住宅の評価			-		-	
	4.1	モニタリング			-		-	
	4.2	運用管理体制			-		-	
LR2	資源・マテリアル			-	0.30		-	3.0
	1	水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
	1.1	節水		3.0	0.40		-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
		1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
		2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
	2	非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60		-	2.7
	2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.22		-	
	3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20		-	3.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70		-	
		1 消火剤		-	-		-	
		2 発泡剤(断熱材等)	発泡系断熱材を使用せず	5.0	0.50		-	
		3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境			-	0.30		-	3.4
	1	地球温暖化への配慮	省エネルギー性能の高い建物とした。	3.6	0.33		-	3.6
	2	地域環境への配慮		3.6	0.33		-	3.6
	2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用せず	5.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.6	0.25		-	
		1 雨水排水負荷低減		-	-		-	
		2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
		3 交通負荷抑制	自転車置き場の確保、駐車スペース・駐車施設の確保	5.0	0.33		-	
		4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	3	周辺環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
		1 騒音		3.0	1.00		-	
		2 振動		-	-		-	
		3 悪臭		-	-		-	
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
		1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
		2 砂塵の抑制			-		-	
		3 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3	光害の抑制		3.7	0.20		-	
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照度、輝度を与える範囲の適正な設定	4.0	0.70		-	
		2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

建物名称 **ドラッグコスモス大矢野店**

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		76
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				87.5	0.40	35.00
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.08			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.07			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.00			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				67.8	0.20	13.56
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.29			
LR2-1.1	節水	3.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				72	0.20	14.40
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数